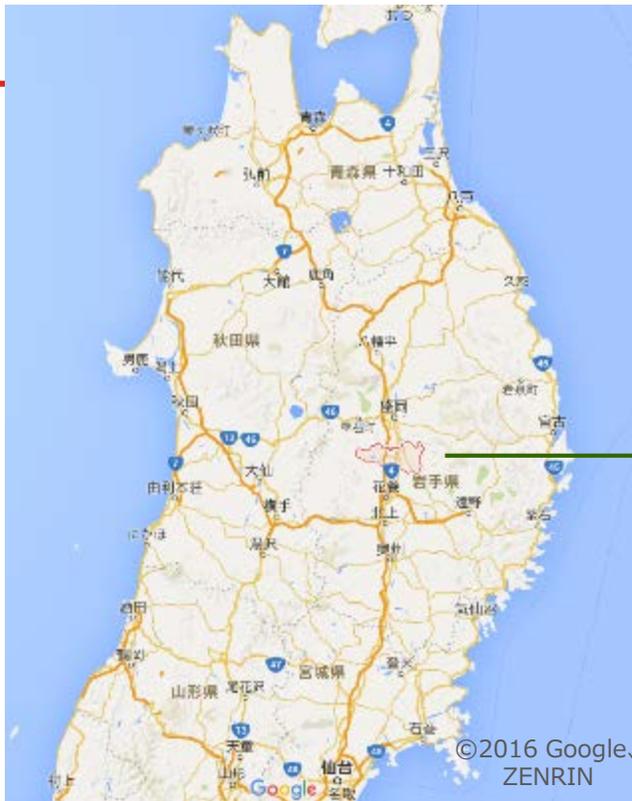


Web 3 タウンの取組について

岩手県紫波町

岩手県紫波町（しわちょう）

主な政策 H12～ 循環型まちづくり
H17～ 協働のまちづくり
H19～ 公民連携によるまちづくり



人口 33,084人 (R4.9月末)
高齢化率 31.71%
世帯数 12,808世帯
面積 238.98 km²
歳出決算額 R1:130億円、R3:166億円
財政力指数 0.47
実質公債費比率 R1:13.4%、R3:12.9%
岩手県のほぼ中央
紫波中央-盛岡間16.7km 21分
(盛岡のベッドタウン)



南部杜氏発祥の地
地酒4社



フルーツ王国
ぶどう・りんご・なし・もも



産直が8か所ある町
地域経営



もち米



南部小麦



そば

Web3タウンとは

地域を超えて多様な人との結びつきを創り出す

地域活性化の中心は「人」であり、多様な人との関わりが欠かせません。国内のみならず、海外を含めた様々な人との結びつきを創り出すことで、これまでにはなかったアイデアや新しい価値の創出が期待できます。

そのためには、様々な考え方テクノロジーの活用が有効であり、中でも、当町は最先端の分野「Web3（ウェブ スリー）」の考え方や技術を積極的に活用していきます。

国においても、ブロックチェーンやNFT（非代替性トークン）、メタバース（仮想空間）などWeb3の推進のための環境整備も含め、新たなサービスが生まれやすい社会の実現に向けた取組が加速し始めています。

こうしたことから、当町は、デジタル分野における次世代の考え方や技術を積極的に活用した「Web3タウン」の取組推進について、2022年6月10日に表明しました。



Web3タウンで目指すもの（プロジェクト例）

1. 地域課題の解決を目指すDAOを設立
2. Web3技術を活用した新型地域通貨の発行に向けた活動
3. ふるさと納税の返礼としたデジタルアートのNFT化
4. Web3技術の推進に取り組む企業の誘致 など

Web3 (ウェブスリー) とは

Webの大きな流れは以下のようにまとめられます。Web2.0までは開発者や（サービス提供元の）企業に情報が集約されていましたが、Web3.0では、情報が全体で共有され、アクション（投稿や購入など）も参加者全員が原則同じ条件で行えるようになり、透明性の高いサービスを運用することが可能となります。



Web3に関する国内トレンド

日本国内においても、Web3（ウェブ スリー）を含む新たなサービスを醸成しやすい環境整備に取り組む動きが加速化。

Web3のデジタル技術を活用した地方創生・地域活性化に対する期待が高まっています。

Web3.0推進に向けた環境整備へ意欲

「デジタルサービスは、新しい付加価値を生み出す源泉であり、日本の地方が直面する少子高齢化や、過疎化といった課題を解決するための鍵。ブロックチェーンや、NFT（ノン・ファンジブル・トークン）、メタバースなど、Web3.0の推進のための環境整備を含め、新たなサービスが生まれやすい社会を実現する。」

(2022.5.5 英国ギルドホールにおける岸田総理基調講演より)

出典：

https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/statement/2022/0505kichokoen.html

政府“骨太の方針”にWeb3.0環境整備が明記

～多極化された仮想空間へ～

(中略) また、**ブロックチェーン技術を基盤とするNFTやDAOの利用等の Web3.0の推進に向けた環境整備の検討を進める。**さらに、メタバース も含めたコンテンツの利用拡大に向け、2023年通常国会での関連法案の提出を図る。

(2022.6.7 閣議決定
経済財政運営と改革の基本方針2022
より)



出典：

<https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/2022/decision0607.html>

「デジタル時代のコンテンツ」戦略

コンテンツをめぐるのは、グローバル・デジタルネット配信の進展による世界的な産業構造調整が進む中で、**メタバースやWeb3.0等の新技術による変革の波が更なる構造変化をもたらしていくことが眼前の問題として現れてきている。**

(2022.4 デジタル時代のコンテンツ戦略
検討タスクフォース 検討資料より)

出典：

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tousakai/kousou/2022/dai3/siryou2.pdf>



岩手県紫波町 Web3 タウン表明

多くの自治体があの手この手で取り組んでいる地域の活性化。
紫波町も例外ではありません。

地域活性化に欠かせないことの1つに、多様な人材が挙げられます。
多様な人材が集まることで化学反応が起こり、これまでになかったアイデアや新しい価値が生まれ、そこから地域経済の盛り上がりや各種サービスの充実等が期待できます。

そこで当町は、国内のみならず、海外も含めた多様な人材にまちづくりへの参加を可能にする、最先端のデジタル技術「Web3」を積極的に活用し、新しい方法での人との対話や価値の創出に取り組みたいと考えます。

Web3の技術を活用して、国内外どこからでもまちづくりに参加できる「DAO（ダオ）」と呼ばれる分散型自立組織を設立します。
DAOを通して、当町のビジョンや取組みに共感し、豊かな地域資源に愛着を持ってくれる多様な人材が地域を超えて結び付き、地域課題の解決や持続可能なまちづくりへの可能性がさらに広がることを期待しています。

デジタル分野における次世代の領域として注目を集める「Web3」。
当町は新しい知見を積極的に取り入れ、「Web3タウン」の取組みを推進することを、ここに表明します。

2022年6月10日
紫波町長 熊谷 泉

Web3 タウンで目指すもの（プロジェクト例）

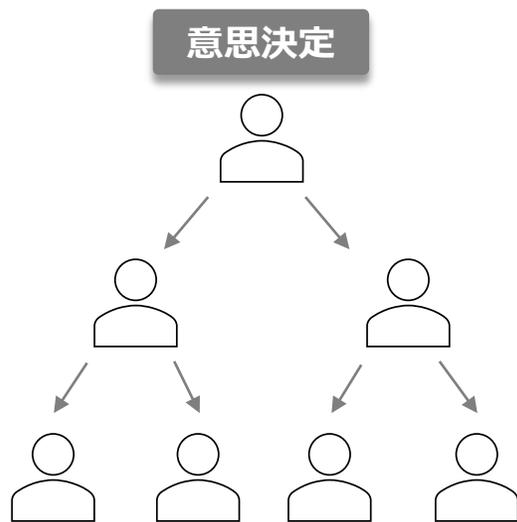
1. 地域課題の解決を目指すDAOを設立
2. Web3 技術を活用した新型地域通貨の発行に向けた活動
3. ふるさと納税の返礼としたデジタルアートのNFT化
4. Web3 技術の推進に取り組む企業の誘致



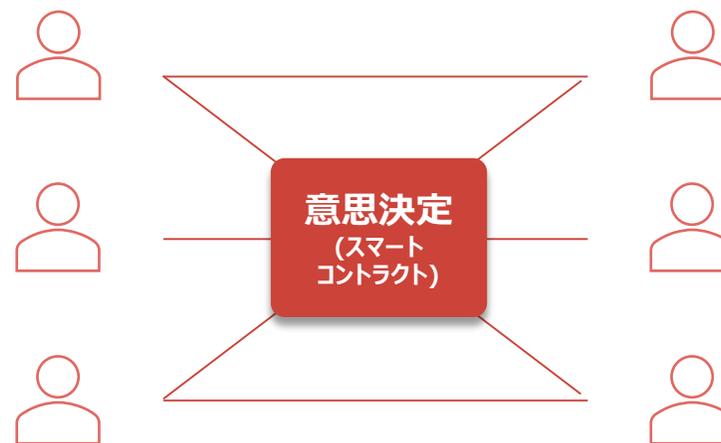
DAO (ダオ) とは

DAOは、Decentralized Autonomous Organization の略で、日本語では「分散型自律組織」と訳されます。DAOはブロックチェーン上に構築され、中央集権的存在に支配されない組織で、誰でも参加可能 (=分散型) な点が特徴です。すべての契約や取引、権利関係の構築はスマートコントラクトにより自動的に実装され、ブロックチェーン上に記録されるため、高い透明性と公平性が注目されています。

従来の組織 (中央集権型)



DAOの組織 (分散型)



新潟県長岡市 山古志地域（旧山古志村）

地方創生にもNFTを活用！人口800人の限界集落が錦鯉のアート
を販売

■ NFT販売益の活用方法

世界中からColored Carpを購入してくださった方々が、ブロックチェーン上に可視化されることで、グローバルなデジタル関係人口が生まれ、NFTの販売益をベースに山古志地域に必要なプロジェクトや課題解決を独自財源で押し進めることが可能になります。

山古志地域を存続させるためのアイデアや事業プランをリアルタイムで、NFTホルダーであるデジタル住民専用のコミュニティチャット内（Discordを使用）で展開し、メンバーからの意見の集約、投票など、可能な限り民主的な手法を取り入れた地域づくりを目指します。

近い将来、Colored Carpを持つ方が滞在できるレジデンスの建設や特別な体験提供など、デジタル住民向けにリアル空間でも楽しめる価値づくりにも注力します。10,000人のデジタル住民の知恵、ネットワーク、資源が集まり、現実の社会に関係なく、独自の財源、独自のガバナンスを構築し、持続可能な「山古志」が誕生します。

<https://kyodonewsprwire.jp/release/202112144913>より引用

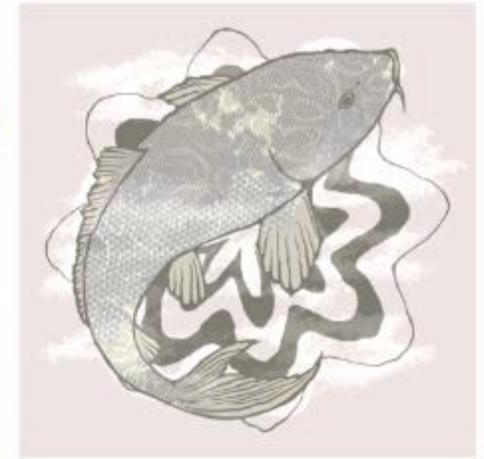
Arts



Colored Carp



JUMP TO MINT PAGE >



Generative patterns "NISHIKIGOI"



JUMP TO MINT PAGE >

出典：<https://nishikigoi.on.fleek.co/>

【公民連携】 民間事業者と協定を締結し、取組を推進

■ 協定の名称

紫波町におけるWeb3タウンの取組推進に関する連携協定

■ 目的

Web3領域の技術を活用した地域活性化に向けた取組を行い、住民サービスの向上及び地域課題の解決等を図る

■ 締結相手方

SOKO LIFE TECHNOLOGY株式会社（本社：紫波町）

■ 連携事項

- (1) ブロックチェーン、NFTなどWeb3領域の技術の利活用による暮らし心地の向上に関すること
- (2) Web3領域の技術の活用による地域の活性化に関する企画・立案
- (3) 前各号に掲げるもののほか、目的を達成するために必要な事項

■ 締結日 2022（令和4）年6月22日



SOKO LIFE TECHNOLOGY

株式会社 (本社：紫波町)

- ・専門的知見や経験に基づく助言や提案
- ・Furusato DAOの枠組構築
- ・DAO上のコミュニティ運営支援
- ・新型地域通貨の発行に向けた技術支援
- ・NFT技術を活用したふるさと納税返礼品の開発支援
- ・Web3技術の推進に取り組む企業誘致支援 など



連携協定

紫波町

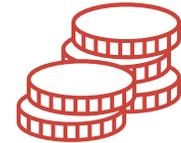
- ・Web3領域の技術を積極的に活用した取組の情報発信
- ・関係法令や制度上の運用確認 (リーガルチェック)
- ・関係省庁への相談、協議
- ・地域課題の解決や新しい取組の企画立案
- ・住民への事業説明や周知、募集 など

(仮称) Furusato DAO



Web上のコミュニティを設立

- ・SNS (TwitterやDiscordなど) で国内外の人たちと活発に交流
- ・多様な人が集まることで、面白い化学反応が起こる
- ・そこから新しいアイデアや価値が生まれる
- ・そのアイデアや価値をもとに町の課題解決や魅力向上の施策を具現化



新型地域通貨
(トークン) の
発行、流通



NFTを活用した
デジタルアートを
ふるさと納税返礼品に

しわ黒豚 × ゲームアイテムNFT

「くりぷ豚レーシングフレンズ」ゲーム内で利用できる「紫波町オリジナルくりぷトン」をNFTの返礼品として提供。

単にNFTだけを返礼としてもニーズが限定されるため、紫波町のブランド豚である「しわ黒豚」の精肉とセットでの返礼品を開発。

ゲームアイテムNFTをきっかけに、これまで紫波町とあまりご縁がなかった層にアプローチし、紫波の特産品を知ってもらうことが期待できる。



© 株式会社GoodLuck3

紫波町ふるさと納税



2022年10月1日から
絶賛提供中
(数量限定)



Furusato DAO デザインNFT

【Web3 Town Shiwa 事業第2弾！！】

ロゴデザインは、小田中染工房の3代目を務める型染め作家の小田中耕一さん。

（人間国宝 芹沢銈介氏の研究所に在籍し、型染めについて師事）

「地域を超えて多様な人材との結びつきを創り出す」FurusatoDAOのコンセプトから連想された、黄色や明るい茶色をベースにした色合いで、温かみを感じるデザイン。

本NFT 保持者には、

- ・Discord 上の専用チャンネルへの入室権利
 - ・デジタル紫波町民のアップグレード
- などの優待を検討中。

紫波町ふるさと納税



**2022年11月4日から
絶賛提供中**

【これまでの取組状況】 Discodeによるコミュニケーション - Web3 Town Shiwa -

Web3 Town Shiwa

プロジェクト募集

xxx-to-earn

metaverse

nft

welcome-to-web3-tow...

雑談

the-雑談

リアル紫波町民の部屋

地方創生論議

サッカー

バレー

野球

バスケット

地域版 (チキメン)

観光スポット

雑談チャンネル募集

他地域の取り組みと...

他地域の取り組みと、紫波町に活かせるか考える

#他地域の取り組みと、紫波町に活かせるか考えるへようこそ！

これはチャンネル「#他地域の取り組みと、紫波町に活かせるか考える」の始まりです。

2022年10月2日

Helita-kun 2022/10/02

三好市の皆様から学ばせていただき、他地域の Web3 の取り組みを共有する場を作りました！ (編集済)

1 2

2022年10月5日

ガンガン (いむ) 昨日 01:30

徳島県三好市で、デジタル市民コミュニティ (DAO) を運営しております。若手県紫波町と、徳島県三好市とでデジタル姉妹都市 (地方D2D) みたいな関係になれたりすると、おもしろいなど考えてたりします

<https://discord.gg/nFDeBa6G>

サーバーに参加するよう招待されました

Miyoshi 徳島県三好デジタル市民コミュニティ

16人がオンライン 122人

参加

1 1

#他地域の取り組みと、紫波町に活かせるか考えるへメッセージを送信

オンライン - 53

171

aka

akasata

akira

Arakaw

ATSUSHI

Ayayayaka

Daigo

ELH

gtmomo

gumball

ha_lsk

hnmhdk.eth

joito

junyamadera

ken sato

Ken_Avicenna

kenji2

<https://discord.com/channels/983657419047567370/983657419534127146>



Web3 Town Shiwa

【これまでの取組状況】 啓発イベントの開催

● Web3 talk @Shiwa

目的：Web3による地方創生の機運・関心を高める、可能性を語る

主催：紫波町、SOKO LIFE TECHNOLOGY(株)

開催日：令和4年10月9日（日）14：00～16：00

場所：紫波町情報交流館 2階 大スタジオ

参加者：一般住民、民間事業者、議会関係者、行政関係者

時程：14：00 開会

14：05 紫波町長挨拶

14：10 紫波町の取組紹介

14：40 パネルディスカッション

テーマ「Web3は地方創生の切り札になるか」

パネリスト：平井卓也氏／初代デジタル大臣・衆議院議員

伊藤穰一氏／(株)デジタルガレージ取締役共同創業者

菅原壮弘氏／SOKO LIFE TECHNOLOGY(株)代表取締役

森川高博／紫波町企画課副課長

モデレーター：菅原貴弘氏／(株)エルテス代表取締役

15：50 質疑応答

16：00 閉会

The poster features a dark blue background with white and yellow text. At the top, it says 'Web3 talk @Shiwa'. The main title is 'Web3は地方創生の切り札になるか'. Below the title, it mentions '初代デジタル大臣平井卓也衆議院議員、デジタルガレージ伊藤穰一氏が、Web3 Town Shiwaの取組に迫る。' The date and time are '2022 10.9 [日] 14:00~16:00'. A QR code is provided for registration. The poster lists the guests: 平井卓也氏 (衆議院議員, 初代デジタル大臣), 伊藤穰一氏 (株式会社デジタルガレージ取締役共同創業者, 千葉工業大学 変革センターセンター長), 菅原壮弘氏 (SOKO LIFE TECHNOLOGY 株式会社 代表取締役), and 森川高博 (紫波町企画課副課長). The moderator is 菅原貴弘氏 (株式会社エルテス 代表取締役). The event summary text states: '日本政府は今年6月7日に「Web3の推進に向けた環境整備の検討を進める」ことを閣議決定しました。その3日後、紫波町は「Web3タウン」の取組推進を議会で表明し、最先端のデジタル技術を積極的にまちづくりに活用していく取組を始めています。果たして、Web3は地方創生の切り札になるのか。紫波町の取組紹介と専門家を変えたパネルディスカッションを通して、その可能性を探ります。' At the bottom, contact information for both the town and the company is provided, along with logos for Shiwa Town, Soko Life Technology, and Eltes.



